

開催の様子やお知らせなどを配信します。

提言書を町長に提出

9月25日（水）に第5回津南未来会議が開催され、これまで検討されてきたまちづくりの活動基盤の変革を踏まえた上で、今後どのような活動の検討をすべきか、討議しました。

予定していた全5回の未来会議を終え、討議内容は提言書として取りまとめ、10月8日（火）に町長へ提出しました。今後この提言を施策にどのように反映できるか、検討していくことになります。



以下は提言の概要をご紹介します。提言書全文（pdf）については、役場ロビーにおいてあるほか、津南町ホームページの「10年後の津南を作ろう『津南未来会議』」ページからご覧いただけます。
<http://www.town.tsunan.niigata.jp/soshiki/chiikishinko/miraikaigi.html>

1 活動基盤の整備を優先する

たとえば、住民が気軽に集えるまちなかオープンスペースの開設や、バラバラな活動をつなぐ持続的な組織として観光地域づくり法人（DMO）の設置、未来会議の継続などを提言。

まちなかオープンスペースの開設

町中心部に、世代や業種を越えて住民同士が気楽に交流できる場所を設置する。また観光や移住などに関する情報を集約した案内所としても機能させて、住民と来訪者の交流の場とする。新設する観光地域づくり法人（DMO）が運営する。

観光地域づくり法人（DMO）の設立

日本一生き生きとした津南を目指す「つなぐ型ツーリズム」の軸となる民間主導、行政支援の新法人を設立する。住民や、観光だけではなく農林業や商工業などの団体のバラバラな活動を横断的につなぐ持続的な主体として、未来会議の事務局、まちなかオープンスペースの運営、情報の集約と国内外への一元的な発信を担う。新法人は、行政と協議した上でKPI（※）を策定、データに基づく検証を行い、その説明責任を負う。

（※KPI：組織目標の達成度を評価するための主要な評価指標のこと）

未来会議の継続と展開

多様な主体の課題・活動・情報・ノウハウを共有する場として、未来会議を定期的に継続。町民、企業、町が連携することで、新たなつながりや相乗効果を生む。個別・具体的な課題に応じて、テーマ別や集落別でも開催し、解決策について話し合う。事務局は、新設する観光地域づくり法人（DMO）が担う。

掲載情報について詳細を知りたい方は、津南町地域振興課DMO推進室までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 地域振興課DMO推進室

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：dmo-suishin@town.tsunan.niigata.jp

開催の様子やお知らせなどを配信します。

2 具体的な活動案は継続的に議論

津南の大地や自然、文化、生業などの地域資源を生かすことで、よそとの交流を活発にして、津南の農業や商工などの生業を活性化する。そして子供たちやお年寄りを元気いっぱいにする。

- 1.自然、伝統文化、生業など津南が持つ固有の魅力を価値化する
 - 2.従来型のスポット・イベント観光にとどまらずに、訪れたお客様に町全体を回遊していただき住民と触れ合う滞在交流型観光を実現する。併せて、訪れたお客様に、まちなかで心地よくお金を落としていただく仕組みや仕掛けをつくる
 - 3.農業、商工業、ITなど様々な分野で津南にしかない質が高く、稼げる産業を確立する
- 上記の方向性のもと、観光、農業、商工業、移住定住、教育などのテーマごとに具体的な活動案をまとめました。これらについては、活動基盤が整備された後も継続的に議論することが必要であり、こうした活動の推進に関しては、観光地域づくり法人（DMO）が住民や農林業、商工業の団体などと連携して行うものとする。

以下、各テーマにおける具体的な活動案が付記された中からの一部を紹介する。

これまでの観光のありかたを見直す

現状は経済的な効果などの検証がなく、入込客数もあいまいなので、これを見直す。提案としては、「つなん型ツーリズム」にふさわしい基準を設定し、それに即して評価する。例えば、津南の顔（ブランドアイデンティティ、例として雪国・農業・アート・自然など）の設定、ターゲットの設定、町民参加などを基準として、その程度を評価する。

サイクルツーリズムを例にすると、農業や自然景観を満喫できること、ターゲットを外国人旅行者とする中で、子供たちのサイクリングクラブやお年寄りとの自然な交流など町民参加の機会も創出する、という風に基準をもとに磨き上げることで「つなん型ツーリズム」をカタチにしてい

く。
また津南の本質を表す言葉（コンセプト）を設定し、一貫した情報発信をすることも肝心である。コンセプトの一案として「豪雪のまち」と設定した場合、それを教育旅行、ヘルスツーリズム、サスティナブルツーリズムなどへ展開。住民の雪に対するネガティブな意識を払拭し、ポジティブな価値を浸透させる取り組みも大事になるだろう。

商工業・商店街を活性化する

町中心部の国道沿いを元気にしたい。まずは商店街の空き家問題解決のために家主アンケートで意識調査をし、その上で情報を開示して担い手を探すという手順で進める。例えば地域づくりを学ぶ大学生に貸し出してビジネスモデルの実験場にする。予算は内閣府の小さな拠点づくり補助金などを活用する。

掲載情報について詳細を知りたい方は、津南町地域振興課DMO推進室までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 地域振興課DMO推進室

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：dmo-suishin@town.tsunan.niigata.jp